

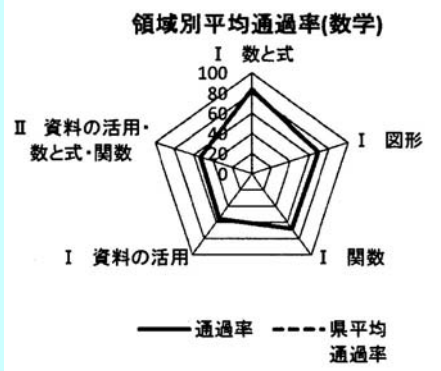
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 71.8%, 県 %)

対県比 %

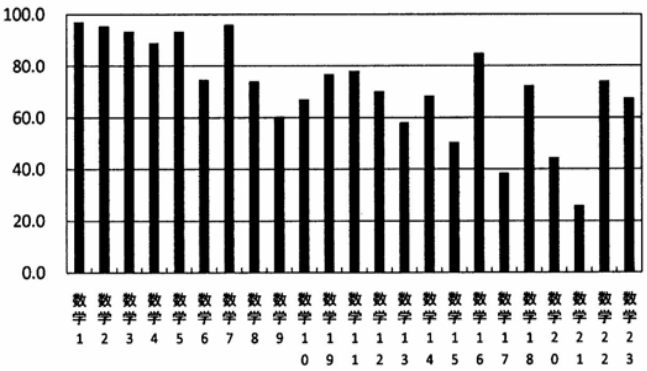
全国学力・学習状況調査 本年度正答率

本年度の結果について

領域別平均通過率



類型IIの平均通過率



**A問題**  
 本校 65.6 %  
 全国 68.4 %  
 県 67.4 %

**B問題**  
 本校 58.9 %  
 全国 60.5 %  
 県 59.8 %

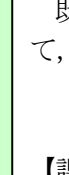
○全体的な傾向について  
 タイプIは75.8%, タイプIIは53.0%の通過率であった。基礎的・基本的な内容については定着が図られていると考えられるが、活用の力に課題がある。特に長い問題文を読み論理的に考えて表現する力に課題がある。  
 ○昨年度の課題への取組の成果  
 昨年度はタイプIIの問題に課題が見られた。そこで、図に書いたり、具体的な数を入れて考えたりするなどの思考を進める手段等を丁寧に指導した。その結果、タイプIIの平均通過率が53.0%となり昨年(50.0%)より3ポイント増加した。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比 %

重点課題

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査  
 【7(1)】最頻値の意味  
 ヒストグラムから最頻値を求める問題に課題がある。解答類型以外の誤答の生徒が22.0%, 無答率が11.5%であり、最頻値の意味やヒストグラムの見方が分かっていないことが課題である。(通過率38.5%)  
 【課題2】全国学力・学習状況調査



重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】「基礎・基本」定着状況調査  
 既習の数学用語を授業の中で出来るだけ使うようにして生徒に説明をさせたり、繰り返し問題を解かせたりして、正確な理解とその定着を図る。  
 【課題2】全国学力・学習状況調査

「基礎・基本」定着状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年・学期末テスト			2年・学年末テスト	
目標値			60.0%			70.0%	
実施後数値							

全国学力・学習状況調査	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法							
目標値							
実施後数値							